

國助地区

沖繩作戰  
ニ於ケル

遊撃隊第三大隊史實資料

昭和二十二年三月二十五日  
第三十二軍残務整理部

北地區隊

戰鬥地域境界

本部地區隊 屋我地西方運天水道—港東才無名島—屋部  
北地區隊 伊武部北方名護恩納村境界—久志金武村境界  
南地區隊

長第三遊軍隊長

第三遊軍隊長(第三中隊欠)

本部(指揮隊直轄少隊情報班(三中主)無線班(棚帶所))

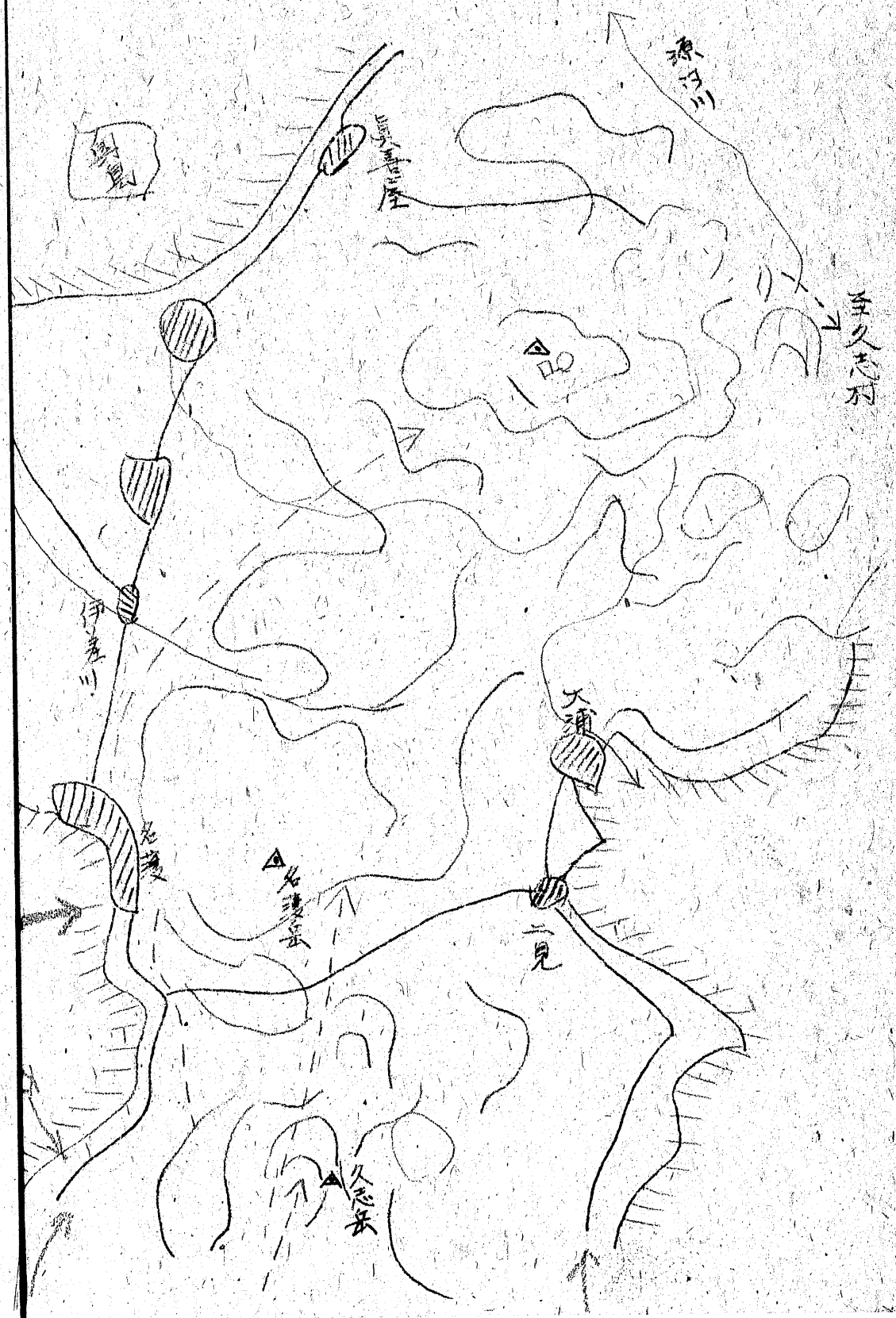
第一中隊(情報要員ト三丁二丁主ヲ既備)

第二中隊(ク)

第四中隊(ク)

特設勤警備第三五中隊  
飯血勤皇第三中隊一部

至久志村



### 第一期遊撃隊戰鬥(挺身奇襲戰鬥)

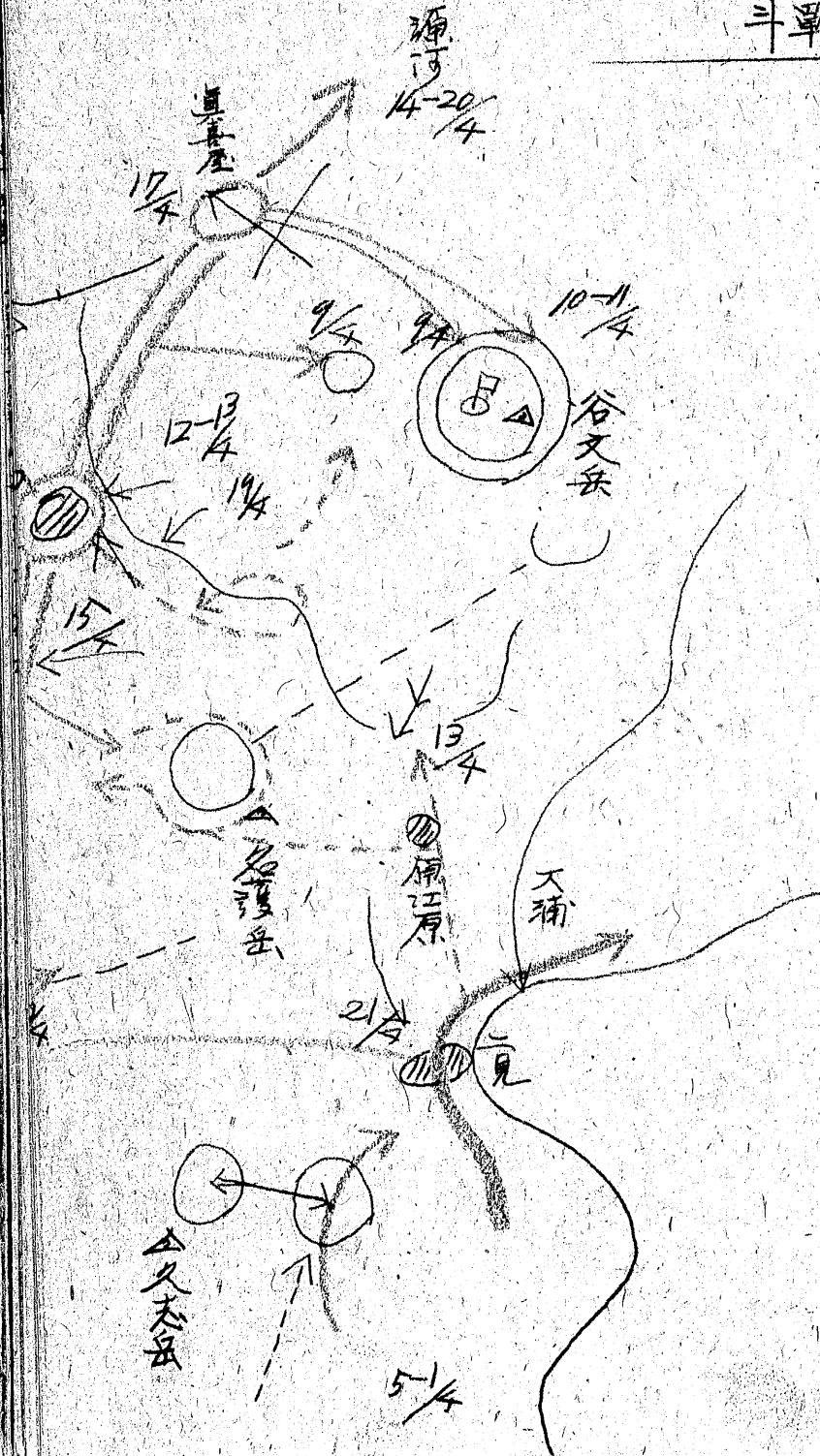
一 一般狀況  
四月一日嘉手納正面ニ敵ニ一上陸北ニミツナリ

四月六日十六時頃許因湖辺底ニLCT直接ニ揚陸作業ヲ開始ス刻  
迄ニ中戦車約三〇輛上陸セリ之ト相俟ツテ中頭地区ヨリ北ニセリ  
敵機械化部隊ヲ東海岸ハ古知屋附近ニ天々進出セルモノ如シ四月七日  
九時C.Dニ護衛セラレテ輸送船団名護灣ニ侵入掩護砲臺下ニ第  
一波ハ名護東江ニ約歩一大隊テ陸部安和ニ面ニ上陸兵力約一  
師団アリ(米海兵才六師団)名護ニ上陸セル敵同地ヲ據点トシ  
主要幹線道路ニ沿ッテ又ニ偵察ス四月八日田井等地ニ進駐四月九  
日更リ本部半島預部ヲ完全ニ遮断シ山地方向ニ對シ搜索ヲ開始諸  
所ニ小戦ヲ惹起ス四月十三日更リ攻東ニ重点ヲ本部地区ニ指シセルノ  
如シ四月十六日支隊本部ト連結杜絶ス十八日一ニ至リ  
主力進駐ス四月十七日ヨリ四月二十日ニ至ル間當初遊撃ヲ計畫ニ基キ  
戰斗ス

(註) 第三遊撃隊才三中队ハ本部地区ヲ隊大部(三〇ニ高地云羽岳)ニ  
陣地ヲ占領シ支隊直轄トシキ

一般狀況要圖

第一遊擊戰



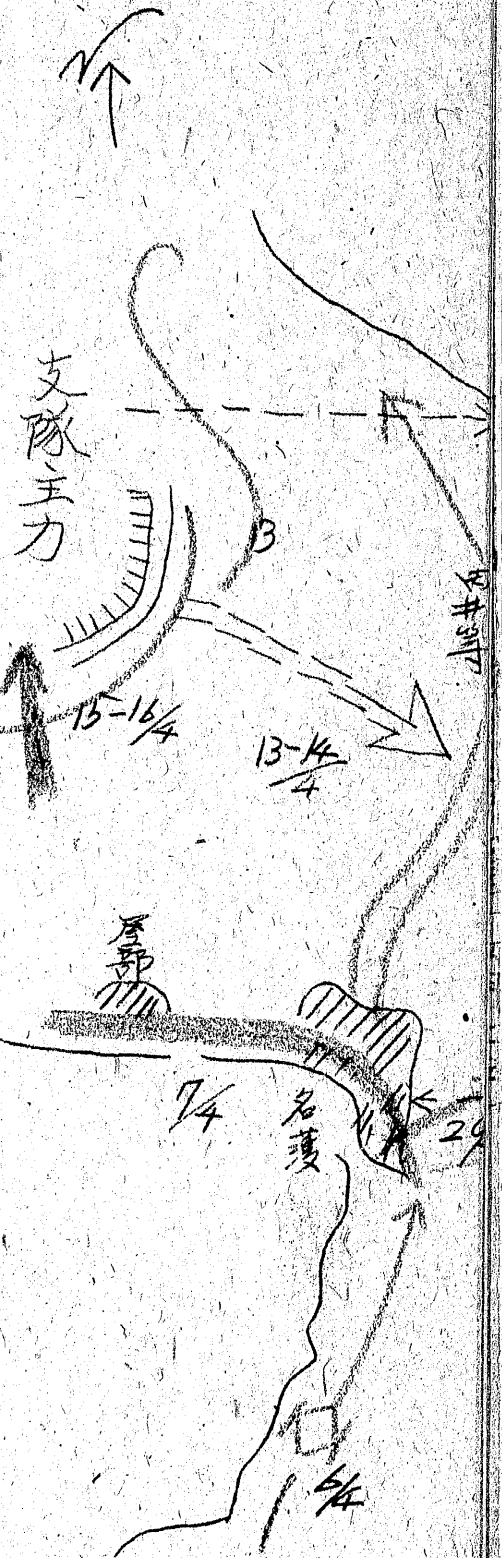
四月十三日 二〇二高地乙羽岳、戰鬥四月十四日八重岳地区取進  
 四月十五、十六日八重岳真基部、戰鬥參加  
 一、戰鬥經過概要  
 一、四月八日三時、支隊本部より許内ニシテ陸セル戰車ヲ攻東スル命令  
 シ受クオチ中隊ニ豫メ指示シテアリトシテ故チ中隊ノ第一少隊ヲ伴ヒ名  
 護岳ニ前進スルニ時機既ニ適ラ九時名護東江ニ敵上陸シテ、アル  
 看取ス  
 二、敵上陸チ一歩ニ於テ攻東スル失敗ヲ招ク慮アルヲ以テ更ニ綿密ナル  
 偵察ヲナスラ要ストノ判テ、モト敵情ヲ監視スルニ決ス(音ヲシテ構)  
 三、四月八日三時、敵ハ名護一羽地道ニ侵入、田井等部、落ニ軍政本部  
 ヲ設置スル等概テ本部半島岬岨部、分析ニ成功シ山地才向ニ對ス  
 ル捜索ヲ強化セシメ各地ニテ少戰(伏撃)ニ意起ク

斗戰、側西ヨ=夕反股納喜

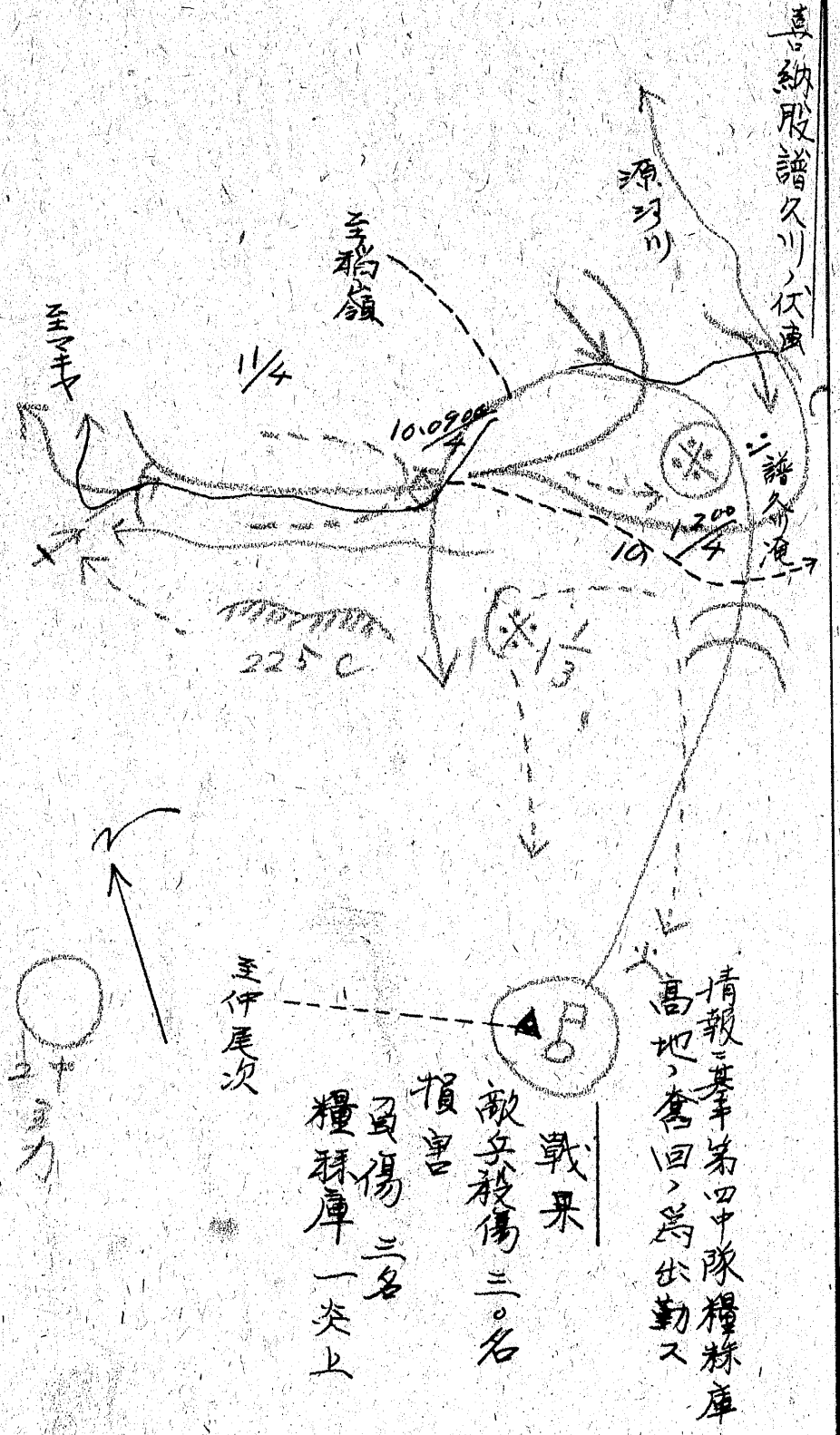
戦果  
敵兵殺傷一〇名  
損害  
戦死四名  
負傷二名



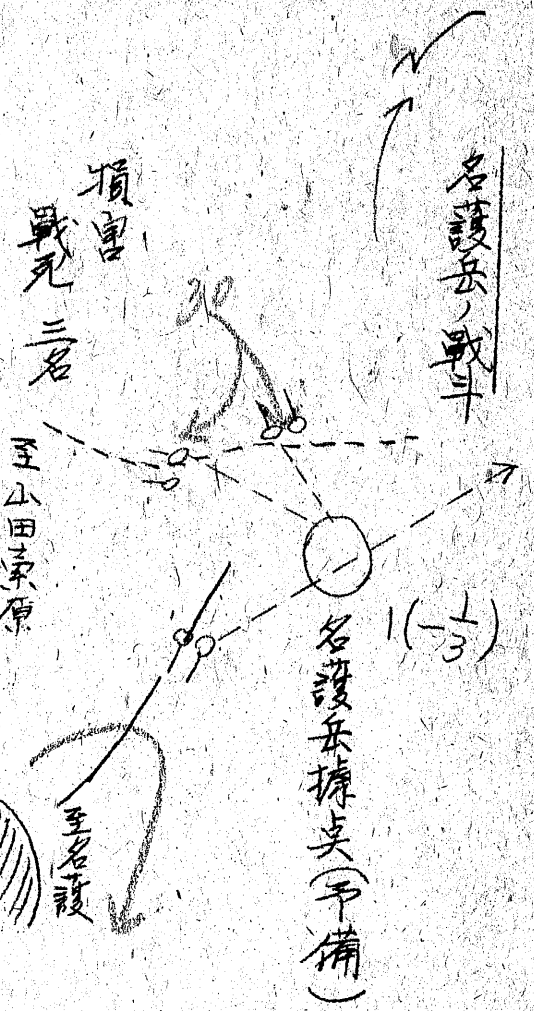
4、四月九日 續戦ニ於テ小ナリト雖モ戦果ヲ著ケテ士氣ヲ昂揚セシメ企圖ス



△ 四月二十日未明  
 敵上陸以來終始受動、態勢アリ之爲一撃ニ挽回セシム企圖ニ三組



5、  
 四月十日  
 第一中隊據実ハ陣地構築準備據実アリ之爲名護町ニ近ク企圖秘  
 匿上不全分ヲ以テ四月九日一部、  
 四月九日緒戦必勝ヲ期セシ伏撃モ遂ニ不成功ニ歸ス依而持久企圖、秘  
 匿ラ策ニ配備ヲ變更ス然レトモ糧秣彈藥分散配置亦完成ナ  
 リ之爲予期、如キ配備ヲナシ得ズ



挺身班ラハ上ハ四千名ニシテ

一長島袋兵長以下三名 戦果 幕舎爆破三(人員約四五名)

重機破壊一

一長瀬渡軍曹以下一分隊 戦果 幕舎爆破三(人員三十名)

一長池宮城兵長以下三名 戦果 兵舎爆破一

倉庫 三

四月十三日

八川上攻軍 夜暗ニ乘ジ青年兵(川上出身者)三名川上部落ニ潜入敵 幕舎群ヲ攻果其ノ三ヲ燦破シ人員約三十名ヲ殺傷セリ

二、三、三高地ノ戦斗

才三中隊之ニ當ルモ状況不明ナリ(細部ハ本下少尉報告ニ依ル可ク) 3.谷父岳南側ニ転移セル才一中隊ハ(櫻基地)連日據矣ノ設定ニ脱意 努力スル一方一部兵力ヲ以テ基地前ノ伏軍ヲ強化シ戦果ヲ揚ゲツカリ

東江原戦斗



戦果 四十四名殺傷 (三名戦死 一名負傷)

△名護岳

八月十四日

源河攻軍 才二中隊一部 兵舎爆破三

羽地大川口伏軍本部一部(情報) (殺傷三名)

9.四月十五日 伊差川攻軍 二中一部 幕舎爆破四 (戦死二名)

10.四月十六日-十七日

東江原戦斗(五月)